



# かみとんだ 議会だより

第 122 号

2008.6

5月16日に臨時会が開会され、議会構成の改選があり、

議長に 吉田 盛彦氏

副議長に 沖田 公子氏 が就任しました。



完成した朝来小学校の体育館

## 3月議会で3議員が一般質問を行いました！

木村 政子議員

建物の耐震補強について 家具の転倒防止について  
自主防災組織について 防災専門委員制度の創設を  
災害時の要援護者登録制度について

大石 哲雄議員

二次合併問題について 福祉施設新築計画について

井潤 治議員

後期高齢者医療制度について 薬害肝炎問題について  
町民の生活、暮らしを優先させることについて

発行 / 和歌山県上富田町議会 編集 / 議会広報特別委員会

〒649-2192 和歌山県西牟婁郡上富田町朝来763  
TEL(0739)47-0550 FAX(0739)47-5959

「議会だより」は、上富田町のホームページに掲載しています。

# 議会構成がかわりました

平成20年第1回臨時会

上富田町議会の臨時会が平成二十年五月十六日に開会され、当局から提案された議案と補正予算の専決処分報告などの審議を行った後、池口議長から申し合わせの任期（二年）による議長の辞職願が提出され、承認後、議長選挙が行われ、投票の結果、

吉田盛彦氏 十一票  
井潤治氏 一票

となり、吉田盛彦氏が第二十三代議長に就任しました。

引き続き榎本副議長より辞職願が提出され、承認後、後任の副議長選挙が行われ、その結果

沖田公子氏 十票  
井潤治氏 一票

となり、沖田公子氏が当選し、副議長に就任しました。



議長に吉田盛彦氏  
副議長は沖田公子氏



吉田盛彦 議長



沖田公子 副議長

町政発展のため  
円滑な議会運営に努力したい

町民の皆様におかれましては、ご健勝にてお過ごしのこととお喜び申し上げます。

平素は議会活動にご指導ご支援をいただき、厚

くお礼申し上げます。

平成十八年の新議会スタートから早くも二年が経過し、折り返し点での議会構成について、五月臨時会で、議員の皆様方

のご推挙により、私ども議長、副議長の要職に就くことになり、誠に身に余る光栄であり、この重責を痛感しているところであります。

わが上富田町は、現在合併しないで単独町政を進めています。

平成十六年度より国が進めている三位一体の改革の下に、地方交付税、国庫負担、補助制度の見直しが行われ、年々地方自治体にとっては行財政の運営、特に財政が非常に厳しい状況になってきています。わが町においても極めて厳しい財政事情であり、行財政の健全化を図るべく、行政改革に取り組んでいるところで

私たち議会においても議員発議により、平成十八年四月の選挙より議員定数を十八名から十二名に削減し、現在、鋭意取り組んでいるところで

町議会では、「住みよい豊かな町づくり」の為に、活発な議論を展開し、町政と皆様とのパイプ役として、皆様の声を議会を通じて町行政に反映し

ていく地方議会の役割を十分努めて参りたいと考えています。

ここに議員の皆様方のご推挙を得ましたうえは、上富田町政発展のため皆様方の協力をお願いしまして、さらに円滑で町民に開かれた議会運営に精一杯努力していく所存でございます。

どうか町民の皆様方のご支援ご鞭撻をお願い申し上げます。

常任委員会

議員はいずれかの常任委員会に所属しなければならぬと定められています。

常任委員会は二つの常任委員会としています。次のページに新しい常任委員会構成を掲載しています。



## 「総務教育常任委員会」

総務教育常任委員会の所管事項は「会計、庶務、行政、財政、まちづくり、税務、教育（学校教育・生涯学習）などに関する事項や、他の委員会に属さないこと」となっています。



委員長 畑山 豊



委員 奥田 誠



委員 吉田 盛彦



副委員長 山本 明生



委員 池口 公二



委員 井澗 治

## 「産業民生常任委員会」

産業民生常任委員会の所管事項は「農林業、建設、上下水道、福祉、健康、保健衛生、保育所に関する事項」などとなっています。



委員長 大石 哲雄



委員 三浦 耕一



委員 榎本 敏



副委員長 木村 政子



委員 沖田 公子



委員 木本 眞次

## 「議会運営委員会」

議会運営委員会の所管事項は、定例会や臨時会の会期日程や議案・請願・陳情の取り扱い、その他議長の諮問に関する事項についての審議を行うことになっています。文字どおり議会の運営について協議する委員会、六名の構成になります。

委員長 榎本 敏 副委員長 大石 哲雄  
委員 畑山 豊 委員 木本 眞次  
委員 池口 公二 委員 井澗 治

## 「高速道路対策特別委員会」

高速道路対策特別委員会は、議決により特別委員会を設置し、高速道路について本議会の閉会中も継続して審査するもので、六名の構成になります。

委員長 奥田 誠 副委員長 三浦 耕一  
委員 山本 明生 委員 木村 政子  
委員 畑山 豊 委員 池口 公二

## 「議会広報特別委員会」

議会広報特別委員会は、議決により特別委員会を設置し、議会広報について本議会の閉会中も継続して審査・編集・発行をするもので、六名の構成になります。

委員長 井澗 治 副委員長 山本 明生  
委員 大石 哲雄 委員 奥田 誠  
委員 沖田 公子 委員 木本 眞次

## 一部事務組合の 議会議員を選出

一部事務組合とは、二以上の市町村が団体の事務や機関に委任されている事務の一部を共同で処理するために設ける地方公共団体の組合をいいます。

### 上大中

清掃施設組合  
議会議員

山本 明生  
大石 哲雄  
榎本 敏  
池口 公二

### 富田川

治水組合  
議会議員

奥田 誠  
沖田 公子  
木本 眞次  
吉田 盛彦

### 富田川

衛生施設組合  
議会議員

木村 政子  
三浦 耕一  
畑山 豊  
井濶 治

### 田辺周辺広域

市町村圏組合  
議会議員

吉田 盛彦  
沖田 公子

### 公立紀南病院

組合議会議員

吉田 盛彦  
沖田 公子

## 和歌山県後期高齢者医療広域連合議会議員

後期高齢者医療制度に伴い、県下30市町村で構成する広域連合議会議員

吉田 盛彦

## 監査委員に 池口 公二氏（議会選出） 井上 秀男氏（学識経験者）

監査委員は地方自治法によって、町長が「財務管理や事業の経営管理について、専門知識や経験のある人からと、議員のうちから」議会の同意を得て選任することになっています。その議会から選出されています。今回、議会構成が改選されたことに伴い、池口公二氏を選任したいとの町長の提案に全会一致で同意しました。

また、学識経験者から選任されていた井上秀男氏が任期満了となるため、全会一致で再任同意されました。



井上秀男氏

## 農業委員会委員に 大石 哲雄氏

議会構成の改選に伴う農業委員の選出は、産業民生常任委員の中から大石 哲雄氏を選出しました。

## 体育協会理事に、木村 政子氏 三浦 耕一氏

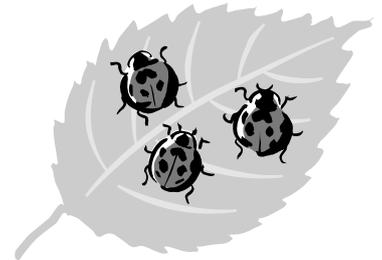
上富田町体育協会の規約により、町議会より理事 2 名を選出しました。

## 3月定例会は、平成20年3月5日に開会し、 3月13日に閉会しました。

3月定例会に提出された案件は、条例等10件、補正予算6件、平成20年度各会計の当初予算16件、工事請負変更契約1件、人事案件1件で、いずれも原案どおり可決しました。

また、議会から農業委員会委員の推薦1件、意見書1件、決議書1件が提出され可決しました。

# 3月 議会



## 主な条例

和歌山県市町村非常勤職員公務災害補償組合規約の変更に関する協議について  
(当組合に、御坊市日高川町中学校組合を加えるための協議です。)

上富田町体育施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例  
(スポーツセンターの一部の芝生化と球技場の事務棟の建設に伴う使用料の改正と設定及び市ノ瀬若もの広場について、使用形態にあった使用料に改正するものです。詳しくは教育委員会へ)

上富田町手数料徴収条例の一部を改正する条例  
(住民基本台帳カードの交付手数料500円について、本年の4月1日から平成23年3月31日までの3年間について、無料とし普及促進に努めるため改正するものです。なお、改正に伴う減額分については、交付税で補填されることとなっています。)

上富田町後期高齢者医療に関する条例  
(平成19年11月に制定された和歌山県後期高齢者医療に関する条例を受けて、上富田町が担う事務や保険料徴収に関する事項について定めるものです。)

上富田町乳幼児医療費の支給に関する条例の一部を改正する条例  
上富田町ひとり親家庭等医療費の支給に関する条例の一部を改正する条例  
上富田町老人医療費の支給に関する条例の一部を改正する条例  
上富田町重度心身障害児(者)医療費の支給に関する条例の一部を改正する条例  
(上記4件の条例改正については、後期高齢者医療制度が本年の4月1日より開始されることに伴い、各条例中の「医療保険各法」に「高齢者の医療の確保に関する法律」を加え、各条項中の老人保健法を削除する等の改正です。)

上富田町国民健康保険条例の一部を改正する条例  
(葬祭費について、和歌山県後期高齢者広域連合の条例で3万円とされたことから、統一を図るため2万5千円から3万円に改正するものです。及び保健事業について、本年度より国民健康保険法によるメタボリックシンドローム検査と保健指導などの特定健康診査等が追加されたことに伴い、条項を整理改正するものです。)

## 工事請負変更契約

工 事 名.....平成19年度 公共下水道事業 生馬下水道管(5工区)布設工事(補助)  
変更契約額.....9,566,550円の増(変更前50,293,950円)  
契約相手.....安藤建設株式会社大阪支店 常務執行役員支店長 中 垣 潔  
(現在、生馬本郷地区の国道311号とその周辺町道に汚水管埋設工事を施工中であり、今回、追加工事として町道から国道への圧送ポンプ設置工事等を実施するものです。)

## 人事案件

上富田町農業委員会委員の任期満了に伴い、農業委員会等に関する法律の規定により、全会一致で次の学識経験者3名の方を議会推薦しました。

上富田町下鮎川  
上富田町朝来  
上富田町生馬

田中 徹氏  
山本 晴大氏  
木本 眞次氏(議会議員より)

(議会議員の木本眞次氏については5月臨時会で大石哲雄氏に代わっています)

任期満了に伴う固定資産評価審査委員会委員に、次の方の選任同意が提出され、全会一致で選任に同意されました。

上富田町市ノ瀬

坂上 勝成氏

## 予算関係

### 平成20年度の一般会計・特別会計予算額 (千円)

会 計 名		予 算 額	
一	般 会 計	4,427,000	
特 別 会 計	国 民 健 康 保 険 事 業	1,831,951	
	老 人 保 健	90,634	
	後 期 高 齢 者 医 療	140,238	
	介 護 保 険	705,859	
	町 営 砂 利 採 取 砕 石 事 業	28,802	
	宅 地 造 成 事 業	86,316	
	宅 地 取 得 資 金 貸 付 事 業	4,429	
	住 宅 新 築 資 金 貸 付 事 業	19,779	
	奨 学 事 業	4,648	
	水 道 事 業	収 益 的 事 業	477,000
		資 本 的 事 業	250,968
	共 同 汚 水 処 理 施 設 事 業	11,303	
	農 業 集 落 排 水 事 業	183,814	
	公 共 下 水 道 事 業	308,953	
	朝 来 財 産 区	7,100	
	西 牟 婁 郡 公 平 委 員 会	1,303	
	計	8,580,097	

平成20年度の一般会計当初予算は44億2千700万円で、対前年度と比較すると1億2千万円、2.8%の増となっています。これは、朝来小学校の建築に伴うグラウンド整備と、あすなる学童保育所の建築や社会福祉協議会への補助金の増、及び20年度開始の特別会計後期高齢者医療への繰出金等によるものです。

編成にあたり、当然ながら従前から打ち出している住民生活に直接影響のない経費や庁内経費の節減を継続しています。歳入は1年間を見込んだ決算に近い額で、一方、歳出は歳入に見合う額とし、基本的には財政調整基金及び減債基金よりの繰入措置はしていません。

よって、1年間を見通しますと大きな経費である一部事務組合の負担金や扶助費、特別会計への繰出金等に不足額が生じてくるものと考え、これらの対応については、歳入の状況や歳出の時期を勘案し補正措置をすることになります。

尚、一般会計における住民負担増については、基本的にはありませんが、特別会計の国民健康保険税について、税率の改定を見込んでいます。

# 主な歳出

## 議会費

- ・ 定例会等議事録作成業務委託料 ..... 1,241千円  
（3月・6月・9月・12月に行う議会定例会等の会議録作成委託料）

上富田町議会議場



## 総務費

（総務管理費）

- ・ 地籍調査費 ..... 56,946千円  
（平成19年度末、町全体の約29%の進捗率となっている。新規で大山前、立平、井ノ谷）
- ・ くちくまのコミュニティバス運行経費補助金 ..... 16,500千円  
（町内で運行しているコミバスの運行経費を委託している明光バスへ補助）
- ・ 口熊野町づくり事業費(さわやか上富田協働推進事業補助金) ..... 10,000千円  
（平成19年度からの事業で、行政と団体等が協働で取り組む事業に対して助成）

補助金を受けて活動する  
くちくまのクラブシーカ音楽隊  
(上富田文化会館で)



- ・ 新エネルギー推進費 ..... 2,000千円  
（地域温暖化対策の新規事業として、平成19年度に策定した新エネルギービジョンに基づき、今回太陽エネルギーを利用したソーラー街路灯を設置する費用等）
- ・ 人権推進費 ..... 885千円
- ・ チャイルドシート購入費補助金 ..... 400千円  
（購入費10,000円を上限として、その半額を補助）
- ・ 男女共同参画社会推進費 ..... 300千円  
（男女共同参画社会の形成に関する取組の推進を図るため、今年度より予算措置）

（徴税费）

- ・ 固定資産評価業務委託料 ..... 3,990千円  
（平成21年度の固定資産評価替に伴う委託料）
- ・ 和歌山地方税回収機構負担金 ..... 2,315千円  
（税の滞納整理のために県下市町村で設立している地方税回収機構への町負担金）

(戸籍住民基本台帳費)

- ・戸籍電算化システム借上料 ..... 8,676千円  
(戸籍の電算化に伴う費用)
- ・住基ネットワークシステム借上料 ..... 6,792千円  
(住民基本台帳のネットワークシステムに伴う費用)

## 民生費

(社会福祉総務費)

- ・特別会計介護保険会計繰出金 ..... 133,387千円  
(介護保険会計の町負担分として一般会計より繰出)
- ・社会福祉協議会補助金 ..... 25,000千円  
(町社会福祉協議会が民間施設を借受け、介護サービス事業の充実を行うため地域福祉基金を活用して補助をする。)
- ・地域福祉センター管理委託料 ..... 2,500千円  
(指定管理者制度に伴い、上富田地域福祉センターを町社会福祉協議会に管理委託する費用)

(老人福祉費)

- ・緊急通報監視センター委託料 ..... 3,780千円  
(一人暮らし高齢者の安否確認を総合警備保障に委託)
- ・敬老年金 ..... 3,120千円  
(80歳以上の方に、年額3,000円を支給)
- ・在宅ねたきり老人介護者手当 ..... 960千円  
(月額4,000円を在宅介護されている方に支給)

(障害福祉費)

- ・扶助費(知的障害者施設介護給付費 他) ..... 129,460千円  
(障害者自立支援法に係る福祉サービス給付費等)
- ・日中一時支援事業委託料 ..... 3,400千円  
(経過的デイサービス事業の大人分が、この事業に移行される。)
- ・視覚障害者用活字文書読上げ装置(備品購入費) ..... 500千円  
(ワープロや印刷物の活字文書を同じ紙面に印刷されたSPコードから音声で読み上げる装置)
- ・オストメイト(トイレ)購入費 ..... 500千円
- ・オストメイト対応トイレ整備工事費 ..... 300千円  
(人口肛門の蓄便袋を洗浄するための対応トイレを上富田文化会館に設置する。)

(児童福祉費)

- ・保育所運営費 ..... 319,867千円  
(町内5つの保育所の運営費)

仲良く手をつなぎ  
散歩に出かける生馬保育所  
の子どもたち



(社会・児童福祉医療費)

- ・特別会計国民健康保険並びに老人保健会計へ繰出金 ..... 156,137千円  
(国保会計と老人保健会計の町負担分を一般会計より繰出)
- ・特別会計後期高齢者医療繰出金 ..... 83,236千円  
(平成20年度より始まる後期高齢者医療会計への町負担分を一般会計より繰出)
- ・扶助費(重度心身障害児(者)・乳幼児・ひとり親家庭 他医療費) ..... 62,540千円
- ・県後期高齢者医療広域連合負担金 ..... 2,233千円  
(平成20年度より開始される75歳以上の後期高齢者医療制度を県下全市町村による広域連合で運営するための町負担金)

- ・紀州3人っこ施策事業費補助金 ..... 450千円  
(平成19年度より始まった施策で、少子化対策の一環として、小学生以下の児童が3人いる世帯に対して、一時的に育児支援等要する場合、一部補助をする。)
- ・子育て支援軽減施策事業補助金 ..... 300千円  
(小学校就学前の児童のいる家庭で、何らかの理由により、通常育児が困難になり、町が契約している子育てのNPO法人が行う児童の一時預かりを利用した場合の利用料を補助)
- (災害救助費) ..... 12,050千円  
(災害が起きたときの災害弔慰金・災害見舞金・災害援護資金貸付金等)

## 衛生費

### (保健衛生総務費)

- ・公立紀南病院組合負担金(運営費他) ..... 52,161千円  
(田辺市、みなべ町、白浜町、上富田町で組織する組合への町負担分)
- ・委託料(乳幼児健診・妊産婦検診 他) ..... 4,399千円  
(医療機関等へ委託)
- ・妊婦健康診査費補助金 ..... 2,430千円  
(第3子以上を産み育てようとする世帯の経済的負担を軽減するため、妊産婦健診費用について一部を補助する。)
- ・病院群輪番制負担金 ..... 1,749千円  
(休日における診療当番の医療機関に係る負担金・・・田辺周辺広域市町村圏組合で調整)
- ・不妊治療費補助金 ..... 300千円  
(不妊に悩む夫婦に対して、一般不妊治療費の一部を補助する。)

### (予防費)

- ・委託料(各種検診、インフルエンザ 他) ..... 23,423千円  
(医療機関等へ委託)

### (環境衛生費)

- ・斎場事務業務委託料 ..... 7,820千円  
(白浜町の斎場使用に係る委託料)

### (清掃総務費)

- ・(財)紀南環境整備公社運営費補助金 ..... 1,809千円  
(紀南の11市町村でゴミ最終処分場の計画を進めている整備公社への町負担分)



公社の理事会

- ・上大中清掃施設組合負担金(運営経費他) ..... 85,300千円  
(田辺市・上富田町で組織する組合への町負担金)
- ・富田川衛生施設組合負担金 ..... 58,977千円  
(白浜町・田辺市・上富田町で組織する組合への町負担金)
- ・委託料(可燃物、不燃物収集委託料 他) ..... 73,169千円  
(町内の可燃物、不燃物収集に係る委託料 他)
- ・合併処理浄化槽補助金 ..... 15,446千円  
(各家庭における合併処理浄化槽設置に伴う補助金 区域制限等条件あり)

- ・ごみステーション補助金 ..... 200千円  
(塵芥集積集塵箱の設置に対する補助、補助率5割で限度額25,000円)
- ・電気式生ごみ処理機購入費補助金 ..... 200千円  
(購入費の1/3を補助、限度額20,000円)

## 農林水産業費

- ・特別会計農業集落排水事業繰出金 ..... 141,333千円  
(特別会計農業集落排水事業会計へ一般会計から繰出)
- ・中山間地域等直接支払事業交付金 ..... 17,000千円  
(中山間地域の農地の遊休地を防ぐために事業実施地区へ交付)
- ・森林整備地域活動支援交付金 ..... 6,800千円  
(荒廃した森林の現況を確認し、その整備を目的に西牟婁森林組合等に交付)
- ・上富田町農業振興協議会補助金 ..... 5,424千円  
(協議会は、農業振興の研究、研修、事業等を行っている。)
- ・林業労働力確保総合対策事業費補助金 ..... 1,079千円  
(林業従事者の確保を目的に、西牟婁森林組合に補助)
- ・日本一うめ産地支援事業費補助金 ..... 500千円  
(生育不良の梅に対し、樹勢回復を実施する補助金で、実施主体のJA紀南に交付)
- ・有害駆除捕獲補助金 ..... 510千円  
(有害駆除捕獲の補助金 サル1頭 30,000円 アライグマ1頭 3,000円)

## 商工費

- ・用地取得奨励金 ..... 26,750千円  
(2月より企業団地で操業を開始しているNTN紀南製作所の企業誘致に伴う用地取得奨励金)
- ・事業所等立地促進基金積立金 ..... 5,000千円  
(上富田町へ新たな事業所等の立地促進を奨励するための基金積立金)
- ・商工会補助金 ..... 3,300千円  
(上富田町商工会への補助金)
- ・観光協会補助金 ..... 303千円  
(上富田町観光協会への補助金)
- ・知的創造活動促進奨励金 ..... 300千円  
(工夫・発明等の特許権、商標登録等に要する国への費用について、町が一部助成)

## 土木費

- ・市ノ瀬橋改良工事請負費  
..... 127,800千円  
(平成15年度から平成20年度にかけて施工の平成20年度工事費)
- ・特別会計公共下水道事業繰出金  
..... 100,190千円  
(特別会計公共下水道事業会計への一般会計からの繰出金)



進む下水道工事(生馬本郷地内)

- ・高速道路推進費 ..... 57,739千円  
（高速道路の推進にあたり出向する職員の人件費・用地事務の負担金と諸経費及び荒堀排水路に係る工事請負費を措置）
- ・県営事業負担金（県道改良工事） ..... 5,000千円  
（町内で実施している県営道路改良工事に伴う町負担金）



改良が進む県道岩田保呂線(川側に拡幅している生馬の山王地区)

- ・木造住宅耐震診断業務委託料 ..... 440千円  
（昭和56年以前建築の住宅で、200㎡以下の家屋が診断の対象・・・個人は無料）
- ・木造住宅耐震改修費補助金 ..... 600千円  
（診断を行い該当すれば、改修費用の2/3を補助（最高60万限度に補助）

## 消防費

- ・消防事務業務委託料 ..... 176,849千円  
（消防事務に係る田辺市への委託料・・・上富田消防署分）
- ・備品購入費(防災用備蓄備品等) ..... 1,326千円  
（ジェットホース・防災用備蓄品等の購入費）
- ・県防災ヘリコプター運航維持運営負担金 ..... 1,177千円  
（県防災ヘリコプター運航に係る町負担金）
- ・自主防災組織育成事業補助金 ..... 1,000千円  
（大規模災害に備えて、町内会等、地域での自主防災組織設立に係る補助）

## 教育費

- ・朝来小学校建築事業費(グラウンド整備工事請負費) ..... 70,000千円  
（朝来小学校建築に伴うグラウンド整備費用）



新しい体育館横のグラウンド整備予定地

- ・あすなる学童保育所建築工事請負費 ..... 60,400千円  
（あすなる学童保育所（朝来）の建築工事費用）
- ・文化会館運営費（自主事業委託料他） ..... 39,123千円  
（上富田文化会館の管理・運営・催しに係る費用）

- ・体育施設管理費 ..... 37,072千円  
（上富田スポーツセンターに係る管理費等）
- ・放課後児童対策業務委託料 ..... 13,956千円  
（あすなる学童保育、なごみ学童保育の業務委託料）
- ・生馬小学校の農業集落排水管接続工事請負費 ..... 14,000千円  
（生馬小学校の排水について、農業集落排水管へ接続する工事費）
- ・海外研修業務委託料 ..... 9,200千円  
（毎年実施している上富田中学校生徒のオーストラリア研修委託料）

訪問したタミンミンハイスクールでよさこい踊りを披露する生徒



- ・生涯学習事業費（ボランティア活動、上富田町文化協会活動補助金 他）..... 8,137千円  
（生涯学習の活動に伴う費用）
- ・図書館運営費（町立図書館の運営費）..... 7,448千円
- ・私立幼稚園就園奨励費補助金 ..... 7,500千円  
（私立幼稚園就園保護者への奨励補助金・・・所得制限有り）
- ・英語指導助手設置事業費補助金 ..... 5,500千円  
（中学校等の英語指導助手に係る費用）
- ・生馬小学校校舎・屋内運動場耐震診断業務委託料 ..... 5,200千円  
（校舎、体育館等の耐震診断を行う委託料）



耐震診断を行う校舎と体育館

- ・適応指導教室運営費 ..... 4,500千円  
（今年度より行う不登校児童の対策費）
- ・紀州口熊野マラソン実行委員会補助金 ..... 3,500千円  
（第13回紀州口熊野マラソンに伴う実行委員会への補助金）
- ・地域交流事業補助金 ..... 500千円  
（スポーツ等を通じての地域交流を図るための補助金）

## 災害復旧費

- ・現年発生公共土木施設災害復旧費（工事請負費） ..... 52,027千円  
（町道射矢ノ谷線ほかの工事請負費等）
- ・岩田地内地すべり対策費 ..... 720千円  
（岩田地区地すべりに伴う、避難先の家賃補助等の対策費）

# 一般質問

## ここが聞きたい!

3月定例会の一般質問は、日程3日目の3月11日行われ、3議員が登壇し、当局の考えを質しました。その質問、答弁の趣旨をまとめて掲載しています。

## 木村 政子 議員

建物の耐震補強について  
自主防災組織について  
災害時の要援護者の登録制度について

家具の転倒防止金具について  
防災専門員制度の創設を



### 建物の耐震補強について

質問 昭和五六年五月以前の木造住宅が約二、〇〇〇戸で改修が必要な戸数は一、八〇〇戸ある。広報のよびかけ以外に対象家庭にダイレクトメールを送るとか、担当者が個別訪問する等、もっと町の方から働きかける施策はとれないか。

町長 九〇万円を限度として、六〇万円の補助金では不足する場合が多いため進まないと考えている。一例として、まず台所を部分的に耐震化するなどの方法が考えられないか研究している。

### 家具の転倒防止金具について

質問 重要な減災対策である。六五歳以上の高齢者と障害者を対象に、転倒防止金具の取付け工事費の補助をしてはどうか。

町長 家そのものの耐震化、壁面や金具取付け面の強度が問題。五千円の補助金をもらうために二〜三回役場へ出向き、写真添付などのわずらわしさもある。すでに実施しているケースで研究する。

### 自主防災組織について

質問 全国七〇%、県七五、四%の組織率に比べて町は三五%と低い。組織率を上げる施策はあるか。自主防結成二年度から、消火器の詰替液や簡易トイレ備蓄などに補助できないか。又、男女共同参画の立場から、自主防の役員構成比三〇%目指して、行政の指導を強めてもらいたい。

総務政策課長 市ノ瀬、岩崎、南紀の台、丹田台地区はすべて結成。大谷、トビノ地区も結成協議をしている状況。

訓練時に消防署に申し出ると消化器等用意し、必要に応じて職員の派遣も出来るので活用してもらいたい。

町長 避難所の間仕切り

やトイレの問題など、女性の身近な問題があるの  
で、役員に参加していただ  
きたい。

### 防災専門員制度の創設を

質問 防災士や防災技術エキスパートの方などに参加してもらってはどうか。又、先進地域の経験に学べるよう自主防の連絡会を作ってはどうか。

町長 組織的にもいろいろ考えている。防災計画の中で、警察や関西電力、NNT、消防署等の専門的な意見も聞いている。

### 災害時の要援護者の登録制度について

質問 平成一九年八月の厚労省通知に基づく名簿は作成されているか。

住民生活課長 民生児童委員活動の一環として災害時一人も見逃さない運動を展開している。ひとり暮らしの高齢者二七九世帯、昼間一人暮らし四〇世帯、高齢者世帯一六四世帯、寝たきり四〇歳

以上五世帯、障害者世帯二三世帯の合わせて五一一世帯の七一五名が登録されている。

この登録制度は、登録することで、万一の災害に備え、災害時は各関係機関への情報提供により連携して避難誘導や救助活動などに活用する。



平成19年度 自主防災組織の訓練より



町は現在この制度を実施していないが、今後関係機関との会議や地域福祉計画策定、個人情報保護も含めて研究する。

# 大石 哲雄 議員

## 二次合併問題について



質問 第二次市町村合併について町長の考え方はどうか。単独行政から、合併もあり得るという考え方に変わって来ていないか。

町長 県の合併に対する考え、構想に対し、調査、研究、検討を行い、合併に対する方向性を検討する必要があります。上富田町には県の構想通り田辺市との合併あるいは白浜町との合併、白浜町すさみ町の西牟婁

郡としての合併、大きな枠で田辺を含んだ広域での合併等々考えられますが、相手のある事で、町単独で判断する事は非常に難しい状況です。上富田町は、平成十六年一月に一次合併協議会から離脱し、その時は当面単独で町づくりを進めると説明し、又、私の三期目町長就任の時も、当面は単独で町づくりをと説明しています。私の任期、又、二次合併の期間を考えた時に、単独で進むか、合併するか、大きな考え方については、あくまでも民主的に住民の皆さんの考え方を反映する事が必要と思っています。単独の町づくり表明はしていますが、それは私の考え方で、町民の皆さんに民主的に判断頂く必要があります。その事について、議会とも相談しますが、やはり十月をめどに法定協議会を立てるとかの議論が今後出て来るといふ認識をお願いします。合併について私の考え方の方向性が変わったのかという事です。私は私の考え方を持っています。職員には、私の考え方を

示す事によって、それになびいて来る場合が出て来るので私は考え方を示しません。職員による合併委員会では、考え方としては、町民の皆さんに対する説明責任を重視した中で、今のところは検討させて頂いています。私自身、端的に言いますと、住民投票をするのが一番いいと思うのです。それで答えを出すと後でしこりが一番残らんかなと思っています。ただどういうふうにするかというのを今後検討して行きたいと思っています。今後とも単独で町づくりを進めるか、合併するのか町民の皆さんに合併についての説明責任があると判断しています。合併するとかしないとかと違い、今の状況について町民の皆さんに説明責任があると思っています。

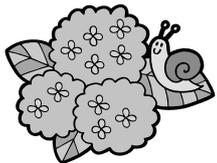
質問 一次合併離脱の原因となった問題はクリアできると考えているのか。

町長 残っていた課題は、一つ一つ解決しています。例えば水道はもう既に年々赤字幅を縮小して

質問 町財政はどうか。

町長 上富田町は県下の中で特に財政的な指標が悪いということではありません。例えば、実質公債比率を見ましても、この付近市町村では決して悪い数字でもないし、連結の決算で上富田町は指数が悪いと新聞に掲載されていますが、むやみな赤字ではないと県に説明しています。

質問 町の財政状況が好転しない限り、合併した市町村も、合併しなかつた市町村も財政面はしんどいよという事のご理解頂きたいと思います。



行政改革と第二次合併について協議する職員(役場会議室で)

# 議員 治 潤 井

後期高齢者医療制度について  
薬害肝炎（B型・C型）問題について  
町民の生活、暮らし優先について  
（国保税の問題）



## 後期高齢者医療制度 について

質問 この問題は政党間を通り越えて、一緒にやっつけていける問題があります。岐阜大垣市の自民党の市議会ニユースで、後期高齢者医療制度の断固廃止を、とするような現象が起きています。四月からの導入が迫っていますが、この医療制度導入の本質をどう受け止めているか。

国保に支援費負担が増えるがその影響はどうか。  
診療報酬はどうなるか。  
外来、入院、在宅医療、

終末期医療はどうなるか。老人保健法では基本健診は無料で全員にやられたが、どうなるか。

町長 国民皆保険を堅持、医療制度を将来にわたり維持可能にするため構造改革が課題。国民医療費が増大する中、従来の制度では高齢者世代との負担の不明確が指摘されている。高齢者と現役世代の負担を明確化し公平でわかりやすい制度にするための創設です。

住民生活課長 国保加入者のうち老人保健該当者は一、六三二名。対十九年に対し九、五〇〇万円の国保税の減となります。レセプトは専門会社へ委託しています。初診料等の改正はなく、外来医療については、慢性疾患、これは糖尿病、高血圧性疾患、認知症等に対する継続的管理を行うことで新たに後期高齢者診療料六〇〇点、月一回を設けます。主治医が患者の同意の上、他の医療機関の診療スケジュール等を含め診療計画を作成し継続的に診療を行う。薬等の重複投与がなくなり患者負担の軽減を図るためです。基本健康診査については、広域連合が実施主体になり各医療保険者が個人から費用徴収額を自由に設定します。今回高齢者の自己負担額が六〇

〇円となっています。保険加入分布は六五、七四の前期高齢者は一、三一〇人、七五歳以上後期高齢者は一、一七七人です。

質問 後期高齢者医療制度は悪制度です。この制度導入の本質は医療費の抑制です。厚労省は医療抑制の数値目標を出し、最終二〇二五年に医療費五六兆円になるとして、それを四八兆円まで八兆円削減するとしています。一番目は短期的効果として診療報酬の引き下げで一兆円。二〇〇六年に三一六％下げで済み。二つ目は患者負担の引き上げ。現役並みの高齢者は三割負担、長期入院者の食費、居住費の自己負担に実施済み、今年四月から七四歳の二割負担に（凍結中）三つ目は中期的効果として、生活習慣病対策の強化で有病者、予備軍を二五％削減することで、二兆円、さらに平均的在院日数を全国平均三六日間を三一日間に短縮することで四兆円、二〇一一年度までに三八万床の医療介護の療養病床を一五万床に、六割削減で八兆円削減の計画です。この一端を担うのが後期高齢者医療制度導入です。高齢者の担当医制度、一人の主治医制度にして複数の医療機関には将来行かないようにとの見込とい

われています。診療報酬では退院時退院支援計画、情報提供に医師が指導した場合、診療報酬が高くなること、退院を促進する医療機関を将来的に優先していく方向に誘導することで長く入院しないねらいがあること。入院日数を平均三〇日から二七日に短縮、必要な医療から高齢者を排除するねらい、終末期医療では、患者らとの間で診療方針の合意文書をつくること、そして自宅での看取りの方向に向けることで病院から高齢者を遠ざけていくと言われています。基本健診は老人保健法では四〇歳以上すべて対象、無料で義務的だったのが、今回七五歳以上は努力目標となり、広域連合では六〇〇円負担としています。町では今まで通り無料にすべきではないか。結局医療費の抑制、高齢者を医者に行くな、病院へ行かすな、終末期医療でも後で問題にならないように合意書を取って医療を打ちきる所へ行くのではないか。ですから広域議会議員の議長、町長は廃止を訴えていただきたい。

町長 今言われた観点からでなしに、町民自ら医療費を抑える努力をしないと今の医療に対する保険制度は難しいと思っ

質問 今年薬害肝炎被害者の一律救済法が出来たが、上富田町でC型肝炎、B型肝炎の相談はあったか。

住民生活課長 相談には保健所とか上部機関と相談する対応をします。保健センターでは三件の相談を受け付けました。田辺保健所での相談及び肝炎ウイルス検査実施状況は平成十九年十一月十二日から二十年三月五日の相談件数は四四二件。肝炎検査の受検者は一七〇名で、無料です。三月五日現在肝炎ウイルス検査は保健所以外、地域医療機関でもウイルス検査体制が出来ています。和歌山県緊急肝炎検査事業で平成二十一年三月末まで協力いただく医療機関として紀南病院、オキ外科、上富田クリニック、中井・丸岡医院、西本内科となっています。

町民の生活、暮らし優先させることについて

質問 国保税の問題です。国保税について、平成

二十年度は基金を取り崩しても厳しく一〇％程度の負担を、と施政方針で表明しています。小出町長は平成十五年から国保税を据え置いて来ました。この努力は認めたいと思います。しかしここで、ひと踏ん張りだと思っどうか。

町長 残念ながら平成二十年度で基金は全部取り崩します。大きな赤字にならないうちに修正が必要と思っている。一〇％という表示はしているが、今税の申告の受け中ですので保険料がどうなるかわからない、という理解をされたい。

住民生活課長 平成十九年度の国保税は一人当たり八万九、四四〇円、二十年度は九万八、七三〇円を予定。この値上げの要因は農業所得等の減少により、平成十九年度の決算見込基金残高を全額取り崩し歳入に充当しても歳入不足になるのです。医療費増加が前年度に比べ一六％の伸びの見込み。健康診査に力を入れ早期発見、治療で国保会計適正運営に努める。

三位一体の改革で国保会計への国庫負担の削減が大きく影響していることについても、聞いています。

# 意見書

3月定例会で産業民生常任委員会より意見書が提出され、賛成多数で可決し、関係機関へ提出しました。

道路特定財源の確保に関する意見書

道路は、社会資本生活や活力ある経済・社会活動を支えるもつとも基礎的な利便、安心・安全な施設であり、地域の活性化にとって必要不可欠である。

現在、地方においては、高速道路など主要な幹線道路のネットワーク形成をはじめ、防災対策、通学路の整備や救急医療など住民生活に欠かすことのできない道路整備を鋭意行っている。

また、橋梁やトンネルなどの道路施設の老朽化が進んでおり、その維持管理も行われなければならず、その費用も年々増

大している。

こうしたなか、現行の道路特定財源の暫定税率が廃止された場合、地方においては約九千億円の税収等の減が生じ、更に地方道路整備臨時交付金制度も廃止された場合には、一兆六千億円規模の大幅な減収が生じ、地方の道路財源が深刻な事態に陥るばかりか、危機的状況にある地方財政運営に深刻な影響を及ぼしかねないことにもなる。

よって、国においては、現行の道路特定財源の暫定税率及び地方道路整備臨時交付金制度を堅持し、関連法案を年度内に成立させるよう強く要望する。

以上、地方自治法第九十九条の規定により意見書を提出する。

提出者  
産業民生常任委員会  
委員長 木本眞次  
副委員長 畑山豊

委員 山本明生  
三浦耕一  
大石哲雄  
榎本敏

# 決議書

三月定例会の最終日に「米兵による女子暴行事件に強く抗議し政府への要望決議」を全会一致で可決し、決議書を関係機関へ送付しました。

二月十日米海兵隊員による少女暴行事件が沖縄県中部の北谷町でおきました。一九九五年にも海兵隊員による少女暴行事件が起きていました。

またもか、という思いと、あつてはならないことがまた起きたのです。いたいけな十四歳の少女を屈強な海兵隊軍曹が暴行するという事実は、なんとしても許されなないことです。

この事件は人間としての尊厳を蹂躪するきわめて悪質な犯罪であり、日本国民、とりわけ沖縄県民に強い衝撃と多大な不安を与えています。

被害者が無抵抗な少女であることを考えれば断じて許すことが出来ない卑劣な行為です。

私たち上富田町議会

は、米軍に対して女子暴行事件に強く、怒りをこめて抗議するものです。合わせて、日本政府に以下のことを強く要求します。

## 記

一、被害者や家族への謝罪と完全な補償・沖縄県民に目に見える形で実効ある再発防止を図るよう求めること。

二、米軍基地の一層の整理縮小や、日米地位協定の抜本的な見直しを図ること。

以上 決議する。

提出者 井潤治  
賛成者 木村政子  
吉田盛彦



道路特定財源関連法案の再可決を求める「紀伊半島一周道路行進キャンペーン」に伴う上富田町での行進が四月二六日に行われ、道路財源の必要性を呼びかけました。



## 編集後記

住民のみなさんに身近に関心を持っていただける議会だよりを作成するために平成十八年五月より二年間努力してまいりましたが、今回、議会構成の改選があり、これまでの委員による発行は、この第一二二号が最後となり、次号からは新しい委員による活動となりました。

これまでのご指導ご協力に心から感謝申し上げます。ありがとうございました。今後、新しい議会広報特別委員が、住民の皆さんに開かれた議会を目指すため、わかりやすく、読みやすい議会だより而努力してまいりますので、紙面等へのご意見、ご感想があれば、どしどしお寄せください。今後ともよろしくお願ひします。